

# ソーシャル・キャピタル形成とまちづくり意識の関連分析\*

## Relation between the Social Capital Formation and Attitudes toward Community Development\*

谷口守\*\*・松中亮治\*\*\*・芝池綾\*\*\*\*

By Mamoru TANIGUCHI\*\*・Ryoji MATSUNAKA\*\*\*・Aya SHIBAIKE\*\*\*\*

### 1. はじめに

昨今のまちづくりにおいては、住民自らのまちづくり意識に基づいた市民参加が強く期待されており、関連する問題意識に基づいた地域と住民の関係についての研究が活発になってきている<sup>1)~3)</sup>。このような中で社会や地域に対する信頼関係と住民活動・参加を一種の地域資本としてとらえたソーシャル・キャピタルという概念が提示され、近年幅広く研究されている。一例として、わが国ではコミュニティ機能の再生におけるソーシャル・キャピタルの重要性が内閣府経済社会総合研究所による調査<sup>4)</sup>で指摘され、地域再生のためのキーとなる概念として着目されている。しかし、これまで実際のまちづくり意識の形成に対し、住民のソーシャル・キャピタルの現状がどのように影響するかを明らかにした研究は存在しない。

ソーシャル・キャピタルという概念はアメリカの政治学者Putnamによるイタリアの南北格差に関する研究「哲学する民主主義」<sup>5)</sup>以来、多くの関心を集めている。そこで、ソーシャル・キャピタルは「人々の協調活動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴」と定義され、アメリカにおけるソーシャル・キャピタル形成に最も影響を与えている要因は世代変化であることが示された<sup>6)</sup>。わが国では、長谷川ら<sup>7)</sup>が農村集落の再編成のあり方をソーシャル・キャピタルの豊かさから検討し、道路などの社会基盤との関連を考察しているほか、柴田ら<sup>8)</sup>は、都市基盤整備でのコンフリクト予防・回避におけるソーシャル・キャピタルの蓄積の重要性を指摘している。また、内閣府による研究<sup>9)</sup>では「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」というソーシャル・キャピタルの各要素間の相互波及・依存について検証を行っ

\*キーワード：意識調査分析、市民参加、地域計画、ソーシャル・キャピタル

\*\*正員、工博、岡山大学大学院 環境学研究所  
(岡山市津島中3-1-1 Tel.Fax.086-251-8850)

\*\*\*正員、博(工)、岡山大学大学院 環境学研究所  
(岡山市津島中3-1-1 Tel.Fax.086-251-8921)

\*\*\*\*学生員、岡山大学大学院 環境学研究所

ている。

以上のように住民のまちづくりへの積極的な参加が求められている中で、住民が自分たちの居住環境づくりに関心を示さない場合に起こる住民参加制度の崩壊の危険性について渡辺<sup>10)</sup>は言及している。そこで、本研究では住民の地域への参加を促すためには様々なまちづくり施策について地域住民が興味を持ち、重要性を感じるものが求められていることに着目する。そこで、住民のまちづくり施策への重要度評価とソーシャル・キャピタル形成の現状を明らかにし、その関連について調べる。具体的には、倉敷市での住民1万人を対象とした意識調査アンケートから、ソーシャル・キャピタル形成度が高く、地域とのかかわりがさかんな住民では、様々なまちづくり関連事項に対する重要度の評価がその他の住民とどのように異なっているかを検証する。

### 2. 意識調査アンケート調査の概要

倉敷市市民意識調査アンケートの概要を表1に示す。

#### (1) 分析対象都市

倉敷市は岡山県南部に位置し、人口476,340人(平成18年9月末日現在、住民基本台帳)を有する中核都市である。倉敷市には美観地区を有する歴史的・文化的な地区であり、人口集積地区である倉敷地区、瀬戸大橋の起点であり繊維のまち児島地区、工場地帯である水島地区、漁港のまちであり、近年開発が進んでいる玉島地区、農村の要素の強い真備地区、船穂地区があり、多様な地区を内在している。

#### (2) 調査内容

アンケートでは、5つのテーマに沿った32の様々なまちづくり施策への「現状の満足度」と「今後の重要度」を5段階で示し、尋ねている。表2にアンケートで尋ねた各まちづくり施策の内容を示す。

また、ソーシャル・キャピタルの代理指標として、近所づきあいやまちづくり活動への参加度など性格の異なる4つの参加活動について取り組み度合いを3段階で尋

ねているほか、倉敷市の歴史・伝統・文化に対する誇りや行政への信頼感、市民への信頼感についてもソーシャル・キャピタルを構成する重要な要素と考え、3段階で尋ねている。

表1 倉敷市民意識アンケート調査の概要

調査対象者	18歳以上の男女 1万人
調査方法	無作為抽出による郵送方式
調査期間	2006年9月
調査内容	I.個人属性
	II.まちづくり施策について
	i)重要度
	ii)満足度
	III.ソーシャル・キャピタル指標
	i)一般的な近所づきあい
	ii)近隣の清掃活動
	iii)庭や周囲の緑の手入れ
	iv)街づくり活動への参加
	IV.ソーシャル・キャピタル関連指標(意識)
i)伝統・歴史・文化に対する誇り	
ii)行政に対する信頼感	
iii)一般市民に対する信頼感	
サンプル数	3384(回収率:33.84%)
実施主体	倉敷市都市計画課

表2 各まちづくり施策(II)の取り組み内容

A 生活に関する施策	A-1	生活排水処理施設や下水道の整備
	A-2	ゴミや廃棄物の処理体制の充実
	A-3	安価な公営住宅の整備・充実
	A-4	木造密集市街地の防災化
	A-5	駅等での人にやさしい環境づくり(ユニバーサルデザイン)
	A-6	狭い生活道路の拡幅
B 景観に関する施策	B-1	美観地区を中心とする都市景観形成
	B-2	各地域の駅前など顔となる地区の景観形成
	B-3	歴史的な建造物や街並みの景観の向上
	B-4	良質な景観整備・美化の推進
	B-5	花や緑を活かした街並みの景観の向上
	B-6	案内板や標識の意匠の美化・統一など
	B-7	看板・張り紙などの規制
C 交流に関する施策	C-1	歴史文化を学び親しむ散策路などの整備
	C-2	海・港・河川などの水辺の親水空間
	C-3	地域の特色ある交流イベントの促進
	C-4	生活空間における小公園・広場の整備・充実
	C-5	水・緑・文化を活かした、観光客の誘致
D 都市整備に関する施策	D-1	都市整備コストの抑制など環境にやさしいまちづくり
	D-2	商店街活性化など、賑わい空間の整備
	D-3	公共交通の便をよくなり、交通環境を充実
	D-4	周辺都市と連絡する広域的な幹線道路の整備
	D-5	駅前広場や接続道路の整備など
	D-6	倉敷駅鉄道高架化による南北交通と都市空間の一体化
	D-7	駅前の駐輪・駐車場の整備
E 市民協働に関する施策	E-1	市政やまちづくりに関する情報提供・公開の推進
	E-2	まちづくりの相談窓口などの庁内体制の充実
	E-3	まちづくり専門家等による支援の充実
	E-4	まちづくりに関する学習機会の充実
	E-5	まちづくりへの関心などを高める交流イベント開催
	E-6	ボランティアやNGO等のまちづくり活動の支援強化
	E-7	優良なまちづくり活動の奨励・表彰・支援の仕組み強化

(3) 集計結果

本研究では、ソーシャル・キャピタル指標として地域に関わる4つの活動への参加状況を用いる。図1にソーシャル・キャピタル形成の現状を、図2に誇りや信頼などソーシャル・キャピタル形成に関連する意識についての現状を示す。まちづくり活動など取り組み内容が高度になるとともに、参加度が低くなる傾向にある。地域の伝統や歴史に対して誇りを感じている人が比較的多く、

行政や市民に対して少しは信頼していると回答した者の割合が最も高かった。

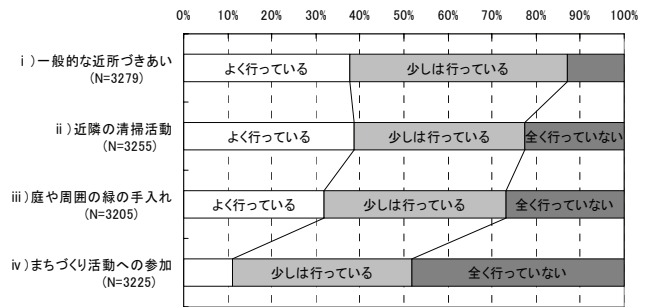


図1 ソーシャル・キャピタル形成の現状

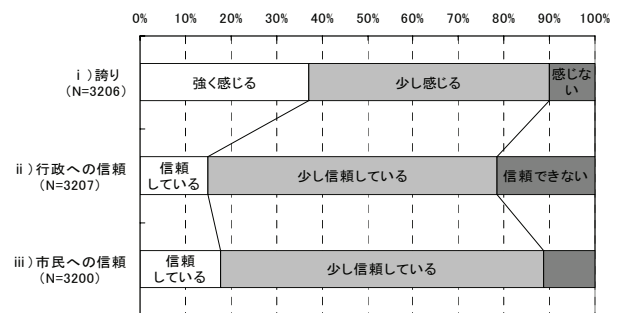


図2 ソーシャル・キャピタル関連指標(意識)の現状

3. ソーシャル・キャピタルとまちづくり意識の関係

各まちづくり施策の今後の重要度と、ソーシャル・キャピタル形成実態との因果関係の有無を明らかにするために、独立性の検定を行った。このとき帰無仮説は以下に示すものである。

**仮説：各まちづくり施策の重要度とソーシャル・キャピタル指標(関連項目含む)は互いに独立(すなわち、無関係)である。**

この仮説に対する検定結果を表3に示す。表中の数値はP値( $\chi^2$ 分布の上側累積確率)であり、例えば0.01であった場合、仮説を棄却した場合、それが誤りである確率が1%であることを意味する。

この結果より、ソーシャル・キャピタル形成とまちづくり施策に対する重要度の評価は独立ではなく、互いに関係するものが数多くあった。つまり、ソーシャル・キャピタル形成度の高い人では、まちづくり意識も強い傾向にあると言える。このことから、近所づきあいなど、誰でも参加することが可能な取り組みでも、まちづくり意識の向上に効果があると考えられる。

表3 ソーシャル・キャピタルとまちづくり施策の独立性の検定結果

		Ⅲ. ソーシャル・キャピタル指標				Ⅳ. ソーシャル・キャピタル関連指標(意識)		
		近所づきあい	清掃活動	緑の手入れ	まちづくり活動	誇り	行政への信頼	市民への信頼
A 生活に関する施策	A-1 生活排水処理施設や下水道の整備	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	A-2 ゴミや廃棄物の処理体制の充実	0.023 *	0.018 *	0.002 **	0.119	0.000 **	0.000 **	0.001 **
	A-3 安価な公営住宅の整備・充実	0.038 *	0.079	0.000 **	0.204	0.000 **	0.000 **	0.003 **
	A-4 木造密集市街地の防災化	0.001 **	0.002 **	0.000 **	0.040 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	A-5 駅等での人にやさしい環境づくり(ユニバーサルデザイン)	0.141	0.000 **	0.000 **	0.069	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	A-6 狭い生活道路の拡幅	0.006 **	0.026 *	0.000 **	0.106	0.000 **	0.000 **	0.000 **
B 景観に関する施策	B-1 美観地区を中心とする都市景観形成	0.012 *	0.008 **	0.003 **	0.216	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	B-2 各地域の駅前など顔となる地区の景観形成	0.021 *	0.048 *	0.001 **	0.014 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	B-3 歴史的な建造物や街並みの景観の向上	0.332	0.102	0.028 *	0.007 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	B-4 良質な景観整備・美化の推進	0.504	0.311	0.047 *	0.155	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	B-5 花や緑を活かした街並みの景観の向上	0.141	0.131	0.025 *	0.003 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	B-6 案内板や標識の意匠の美化・統一など	0.003 **	0.001 **	0.000 **	0.003 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	B-7 看板・張り紙などの規制	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
C 交流に関する施策	C-1 歴史文化を学び親しむ散策路などの整備	0.003 **	0.002 **	0.000 **	0.008 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	C-2 海・港・河川などの水辺の親水空間	0.050	0.062	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	C-3 地域の特徴ある交流イベントの促進	0.130	0.059	0.021 *	0.095	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	C-4 生活空間における小公園・広場の整備・充実	0.240	0.180	0.108	0.003 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	C-5 水・緑・文化を活かした、観光客の誘致	0.130	0.001 **	0.253	0.355	0.000 **	0.000 **	0.000 **
D 都市整備に関する施策	D-1 都市整備コストの抑制など環境にやさしいまちづくり	0.490	0.003 **	0.000 **	0.010 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	D-2 商店街活性化など、賑わい空間の整備	0.317	0.005 **	0.006 **	0.383	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	D-3 公共交通の便をよくなり、交通環境を充実	0.044 *	0.003 **	0.010 **	0.734	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	D-4 周辺都市と連絡する広域的な幹線道路の整備	0.048 *	0.016 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	D-5 駅前広場や接続道路の整備など	0.057	0.002 **	0.002 **	0.098	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	D-6 倉敷駅鉄道高架化による南北交通と都市空間の一体化	0.000 **	0.044 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	D-7 駅前の駐輪・駐車場の整備	0.043 *	0.005 **	0.025 *	0.064	0.000 **	0.000 **	0.002 **
E 市民協働に関する施策	E-1 市政やまちづくりに関する情報提供・公開の推進	0.031 *	0.015 *	0.000 **	0.016 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	E-2 まちづくりの相談窓口などの庁内体制の充実	0.002 **	0.018 *	0.001 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	E-3 まちづくり専門家等による支援の充実	0.002 **	0.000 **	0.001 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	E-4 まちづくりに関する学習機会の充実	0.079	0.004 **	0.003 **	0.001 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	E-5 まちづくりへの関心などを高める交流イベント開催	0.001 **	0.019 *	0.000 **	0.010 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	E-6 ボランティアやNGO等のまちづくり活動の支援強化	0.001 **	0.043 *	0.000 **	0.032 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **
	E-7 優良なまちづくり活動の奨励・表彰・支援の仕組み強化	0.039 *	0.013 *	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **	0.000 **

凡例  
 \*\* 強い関係がある(独立性が1%有意で棄却され、SC指標が高いとき重要度も高い)  
 \* 関係がある(独立性が5%有意で棄却され、SC指標が高いとき重要度も高い)  
 関係の方向性が逆である(相関係数が負の値をとる)

全ての指標と関係が強い取り組みは、A-1 排水処理整備の問題、B-7 看板・張り紙の規制、C-1 歴史文化に関するまちづくりについて、E-3 まちづくり専門家による支援についてであった。

一方で、ソーシャル・キャピタル指標としたそれぞれの取り組みや意識によって、まちづくり意識への影響が異なっていることがわかった。誇りや信頼などのソーシャル・キャピタル関連指標(意識)については、全てのまちづくり施策と関連性が高いという結果を得た。以上より、参加の実態よりもむしろ誇りや信頼といった意識の方が、まちづくり意識に関して強い関係性を有していることが明らかとなった。

また、表3の中には有意な負の関係(ソーシャル・キャピタル指標が低い住民の方が、むしろ重要性意識が高い)を示す組み合わせも存在する(表中の網掛けで表現)。例えば、A-3 安価な公営住宅の整備・充実では緑の手入れに関する活動を行っている住民がむしろその重要性を認めていない。これは、「庭や周囲の緑の手入れ」という活動の特性上、持ち家に住んで庭を持つ住民がよく取り組んでいるため、公営住宅についての重要性を低く評価している可能性がある。

#### 4. 居住地区によるまちづくり施策重要度の違い

ソーシャル・キャピタル形成の水準に応じ、まちづくり施策重要度の評価が異なることは明らかとなったが、他の要因が存在する可能性もある。例えば表3において、B-1(美観地区景観形成)に対する重要性評価は、まちづくり活動とは必ずしも関連しないことが示された。これはこの施策が美観地区という特定の場所のみに関する施策であることが一つの要因であると類推できる。そこで、居住地区によるまちづくり施策重要度の違いを明らかにする。それぞれの施策の居住地区別の平均重要度をとり、表4に示す。評価は5点満点で行った。

この結果から、A-2のように居住地区によって差異が無い取り組みもある一方で、A-3やB-2、D-2、4、5のように居住地区によってその重要度評価に差が生じる取り組みもいくつかあることが明らかとなった。B-1、2、4は美観地区や景観に関する取り組みであり、美観地区のある倉敷地区で非常に重要度が高くなっている。また、商店街や駅前広場についての取り組みでも中心となる駅を有する倉敷地区で、重要度が極めて高いことが明らかとなった。そして、D-4では周辺部にある船穂・真備地区で周辺都市との連絡についての取り

組みの重要度が高く、逆に倉敷地区や水島地区などの中心地区では重要度が低い。このことから、住民によるまちづくり施策の重要度の評価は、自分の居住地区に関する施策を他の地区に関する施策よりも重要視する傾向があることが明示的に示された。

## 5. おわりに

本研究では、意識調査に基づいて、ソーシャル・キャピタルの形成度に応じ、各種まちづくり施策に対する重要度評価にどのような差が生じるかを検討した。また、居住地区によってまちづくり施策の重要度にどのような違いがあるのかを明らかにした。以下に分析から得られた結果を示す。

- 1) 住民のまちづくりへの考えとソーシャル・キャピタル形成の間には関係性があり、ソーシャル・キャピタル形成度合いが高い人では、まちづくり施策に対する重要度も高いという一般的な関係がある。
- 2) 特に参加活動よりも地域に対する誇りや信頼度が高い人でまちづくり意識も高く、参加活動よりも地域をどうとらえているかの方がより強くまちづくり意識に影響している。
- 3) 近所づきあいという誰でも行うことができるような取り組みでも、まちづくりに対する意識の向上を促すことができると考えられる。
- 4) まちづくり施策に対する重要度は居住地区によってもばらつきがあり、施策によっては、各自の居住地区に関連する施策についての重要度が他の地区よりも高い傾向にある。

なお、参加の実態と重要性評価に関する順序関係については、まちづくりに対する重要度を高く感じているから、ソーシャル・キャピタル形成が高くなったという方向性も否定できない点（すなわち、どちらが先かということとは容易に断定できない）にも注意が必要である。

## 参考文献

- 1) 齋藤充弘・山形耕一・山田稔・志摩邦雄：住民意識と日常生活行動からみた小さな町づくりのあり方について、都市計画229号，pp70-78，2001.
- 2) 鈴木春菜・藤井聡：「風土」への接触量の変化が「地域への感情」に与える影響に関する研究、土木計画学研究・講演集，Vol. 34，CD-Rom，2006.
- 3) 引地博之・青木俊明・大淵憲一：地域に対する愛着の形成過程の検討，土木計画学研究・講演集，Vol. 34，CD-Rom，2006.
- 4) 内閣府経済社会総合研究所：コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書，2005. <http://www.esri.go.jp/jp/archive/hou/hou020/hou015.html>，（最終閲覧日：2007/06/21）
- 5) Putnam, R. D. : Making Democracy Work: Civic Traditions in Modern Italy, NJ, Princeton University Press, 1993.
- 6) Putnam, R. D. : Bowling Alone: the collapse and revival of American community, New York, Simon and Schuster, 2000.
- 7) 長谷川裕信・田村亨・有村幹治：自然共生地域の持続的発展可能性，一社会基盤の役割とソーシャル・キャピタルの育成一，土木計画学研究・講演集，Vol. 33，CD-Rom，2006.
- 8) 柴田久・土井健司：都市基盤整備におけるコンフリクト予防のための計画プロセスの手續きの信頼性に関する考察，土木学会論文集D，Vol. 62 No. 2，pp. 213-216，2003.
- 9) 内閣府国民生活局市民活動促進課：ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて，2002. [http://www.npo-homepage.go.jp/data/report9\\_1.html](http://www.npo-homepage.go.jp/data/report9_1.html)，（最終閲覧日：2007/06/21）
- 10) 渡辺誠介：市民参加型まちづくりの条件整備について，学会誌「都市計画」212，pp27-30，1998.

表4 地区別まちづくり施策の重要度

		倉敷地区	水島地区	児島地区	玉島地区	船穂・真備地区	全地区の平均
A 生活に関する施策	A-2 ゴミや廃棄物の処理体制の充実	4.32	4.30	4.34	4.33	4.28	4.31
	A-3 安価な公営住宅の整備・充実	3.25	3.39 ○	3.27	3.23	3.22	3.27
	A-4 木造密集市街地の防災化	3.88 ●	3.94	3.99	3.96	3.90	3.94
B 景観に関する施策	B-1 美観地区を中心とする都市景観形成	3.86 ○	3.72	3.77	3.70	3.78	3.77
	B-2 各地域の駅前など顔となる地区の景観形成	4.08 ○	3.86 ●	3.89	3.92	3.91	3.93
	B-4 良質な景観整備・美化の推進	3.80 ○	3.70	3.73	3.76	3.76	3.75
D 都市整備に関する施策	D-1 都市整備コストの抑制など環境にやさしいまちづくり	3.85	3.84	3.84	3.75 ●	3.89 ○	3.83
	D-2 商店街活性化など、賑わい空間の整備	4.07 ○	3.98	3.94	3.91	3.87 ●	3.95
	D-3 公共交通の便をよくし、交通環境を充実	4.13 ●	4.26 ○	4.19	4.17	4.18	4.19
	D-4 周辺都市と連絡する広域的な幹線道路の整備	3.74 ●	3.74 ●	3.78	3.82	4.07 ○	3.83
	D-5 駅前広場や接続道路の整備など	4.12 ○	4.02	3.88 ●	3.88 ●	4.00	3.98
サンプル数		970	382	341	392	202	2287

### 凡例

○	全地区の平均との差 > 0.1
○	+0.05 < 全地区の平均との差 ≤ +0.1
●	-0.1 ≤ 全地区の平均との差 < -0.05